

令和4年度 学校経営の概要

1 学校経営にあたって

本校は、明治7年（1874年）に開校し、今年の4月7日に創立148周年を迎えた。西目町の行政は「教育尊重」「教育優先」の施策を推進し、地域内には、こども園、小学校、中学校、高等学校が設置されている。平成17年に1市7町が合併し由利本荘市になってもその思いは受け継がれ、先人のその思いの下、本校の玄関前の石碑には「啓發智能」と刻まれ、現在でも1園3校の連携が図られている。

校舎は平成20年に改築され、木材をふんだんに使用した温かみのある近代的な造りで、各学年の教室には多目的スペース、広々として使い勝手がよい特別教室、ステージ風の中央階段と玄関ホール等、特色あるスペースが整備された。校地内には小川が流れる「親水公園」や芝生が広々と植えられた前庭があり、プラタナスを始めとするたくさんの木々に囲まれた公園の中にあるような、内外ともすばらしい環境の学校である。

校区である西目町は、日本海沿岸に位置し、地域の東方と南方は鳥海山麓の由利原高原に囲まれた東西6km、南北14kmの田園地帯にある自然豊かな地域で、東北初の土地改良事業で建設された水力発電所や複数の風力発電所が建設稼働している。南北に国道7号線とJR羽越本線が走っており、先進技術を導入した電子部品関連を中心とした製造業や、果樹のわい化栽培やバイオ技術を取り入れたキノコ栽培等の複合農業経営等、他市町村に先駆けた長期的で、総合的な視点に立った産業の推進に取り組んでいる。

地域の方々は、先人の開拓精神を引き継ぎ、郷土愛にあふれ教育に対する関心や意識も高く、保護者と共に教育活動に対する協力や支援に積極的である。子どもたちは、家庭や地域の方々に温かく見守られ、明るく素直で伸び伸びと育てられている。

これからの学校経営にあたっては、社会の在り方が劇的に変わるSociety5.0時代、新型コロナウイルス感染拡大など先行き不透明な予測困難な時代であることを踏まえ、一人一人の子どもたちが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要である。

そこで、本校では、これまでの様々な研究指定に取り組んできた教師集団の学校経営への参画意識を一層高めながら、本県教育が目指している「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を基調とし、ふるさとを学びのフィールドとした「人・もの・こと」について学びながら見いだした課題や問題に対して、他と関わり合いながら主体的に解決していこうとする、たくましく生きる子どもの育成を図っていくことで、これからの時代に求められる資質・能力を育てていきたいと考えている。

2 学校教育目標と目指す姿

ふるさとに学び、主体的にたくましく生きる子どもの育成

(1) 目指す子どもの姿 ～夢にときめけ、明日にきらめけ～

- 目標や夢に向かって、前向きに取り組もうとする子ども（学びに向かう力、人間性等）
- 人、こと、ものに関わり、高まろうとする子ども（生きて働く知識・技能）
- 学びをふりかえり、より深く学ぼうとする子ども（思考力・判断力・表現力等）

(2) 目指す教師の姿 ～3つの「C」で「参画」～

- ESD、ふるさと教育・キャリア教育の視点をもって取り組む教師
- それぞれの持ち味を生かして、互いに高まる教師
- 子ども、保護者、地域、同僚から信頼される教師

(3) 目指す学校の姿 ～地域のために～

- 子ども一人一人の個性を大切に、「学力の保障」「成長の保障」に努める学校
- 保護者や地域の思いや願いを傾聴し、共に子どもを育てようとする学校
- 子どもが生き生き活動し、地域を明るくする学校

3 経営の重点と主な施策

(1) 確かな学力と高い志を育てる教育の充実

- ①重点とする資質・能力を育む生活科と総合的学習の時間を核としたカリキュラム・マネジメント
- ②各教科等の見方・考え方を働かせる子どもの姿をイメージした授業づくりと授業評価
- ③ユニバーサルデザインの視点による授業づくり
- ④ICTを活用した教育の推進
- ⑤学びの土台となる活動の重視

【成果指標】

- ・将来の夢や目標を持っている児童の割合（小6）**85%**
(全国学力・学習状況調査 4月と12月に実施)
- ・学んだことを振り返って次の学習につなげることができる児童の割合（小6）**87%**
(全国学力・学習状況調査 4月と12月に実施)

(2) 心と体を育み自立を支える教育の充実

- ①SDGsと関連付けたふるさと教育、キャリア教育の推進
- ②生徒指導の機能を生かした自己指導能力の育成
- ③「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の充実
- ④よりよい人間関係を築く特別活動の充実と園・小・中の連携
- ⑤安全教育・健康教育（体力の向上や食育の推進）の充実

【成果指標】

- ・自分にはよいところがあると思っている児童の割合（小6）**86%**
(全国学力・学習状況調査 4月と12月に実施)
- ・運動やスポーツをすることが好きな児童の割合（小5）**66.5%**
(全国体力・運動能力、運動習慣等調査 6月と12月に実施)

(3) 地域と共に取り組む多様な教育の展開

- ①「Nishime Pride Nishime Compliance」（危機管理、不祥事防止、様々な教育課題等）研修の充実
- ②特別支援教育を推進するための体制づくり
- ③初任者研修、人事評価システム等を活用した組織の活性化と資質能力の向上
- ④学校運営協議会等の組織を積極的に活用した「地域の学校」の運営
- ⑤学校便り、HPによる学校情報の積極的公開

【成果指標】

- ・地域に貢献する活動へ参加している児童の割合（小5、小6）**85%**
(学校アンケート)